



2 0 1 0 年 安 全 報 告 書



「ハッピーベアル」(5000系車両)

この安全報告書は、当社における2009年度の鉄
道輸送の安全の確保のための取組みや、安全の実態
をまとめたものです。

2010年9月

大阪府都市開発株式会社



1. お客さまはじめ地元の皆さまへ

当社の鉄道事業に対しまして、日ごろのご利用とご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、1971年4月の開業以来、法令の遵守とともに安全・安心で快適な輸送サービスの提供に努めております。

2009年度におきましても、A F 軌道回路更新、新型A T S 設置、光明池駅の耐震補強、各駅の非常通報ボタンの増設等、さらなる安全性の充実及び向上のための工事を実施いたしました。

なお、安全目標である「責任事故ゼロ件」の継続も2009年10月現在、32年間連続となっております。

安全運行を確保するため、引き続き安全最優先意識の徹底を図り、運輸安全マネジメントの継続的改善、鉄道事故・災害等への対応力の強化を図るとともに、新型A T S 設置等、安全確保に必要な取組みを計画的に推進してまいります。

今後とも、お客さま第一主義を実践し、お客さまと社会からさらに信頼される鉄道を目指して努めてまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために毎年度公表するものです。

皆さまからの声も反映しながら輸送の安全性の向上に努めたいと考えておりますので、ご意見を頂戴できれば幸いです。

大阪府都市開発株式会社

代表取締役社長 堀之内 慎也



2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

泉北高速鉄道では、鉄道の安全確保のために次の項目を推進します。

- ①安全で快適な鉄道輸送サービスを提供します。
- ②お客さまと社会から信頼される企業を目指します。
- ③組織の活力をより向上させます。

(2) 安全に係る行動規範

泉北高速鉄道では、社長以下全役員・全社員が一丸となって輸送の安全確保を図るため、以下の安全に係る行動規範を遵守します。

- ①一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(3) 安全目標

泉北高速鉄道では、1977年9月以来、32年間にわたり「責任事故（当社の責任により発生した事故）ゼロ件」を継続しております。今後ともこの継続に向けて取り組んでまいります。



乗務員点呼



車掌による確実な前方監視



電車線の点検



3. 事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

2009年度は、鉄道運転事故は発生しませんでした。

(2) 鉄道災害

2009年度は、鉄道施設に被害を生じる災害は発生しませんでした。

(3) インシデント(事故の兆候)

2009年度は、国土交通省近畿運輸局への報告を必要とするインシデントは発生しませんでした。

(4) 輸送障害(運休や30分以上の遅延)

2009年度は、自然災害(強風による広告看板飛来)により、運休・30分以上の遅延を伴う輸送障害が1件発生しました。



マルチプルタイタンパー
コンピューター制御で軌道の狂いを計測して直します。

軌陸車

線路と道路の両方を走行できトロリー線や ATS(自動列車停止装置)、列車無線の点検を行います。



4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全のための設備投資と検査・修繕

2009年度は安全のための設備投資として11億円の工事を実施するとともに、車両・線路・電気設備等に4億7千万円の検査・修繕を行いました。

輸送の安全確保のための主な設備投資として以下の工事を進めています。

ア AF 軌道回路更新工事

列車の安全運行を支える「AF 軌道回路」を中百舌鳥～泉ヶ丘間（田園変電所付近）において更新し、2009年12月に切替を完了しました。

イ 新型ATS設置工事

安全対策強化のため、新型ATS地上設備の設置工事を2009年度から2011年度にかけて予定しております。また、車上装置については、2009年6月に主な装置について発注しており、車両定期検査にあわせて、順次設置を予定しております。



新型ATS 地上装置



新型ATS 車上装置

ウ 耐震補強工事

光明池駅においては、2008年度末までに、柱80本中61本を、駅等の改修工事に併せて工事を行っており、2009年度には、残り19本の工事を実施し、全ての耐震補強工事を完了しました。深井駅においては店舗入換等が生じた際に耐震補強工事に取り組んでいます。



なお、各駅間部分及び泉ヶ丘駅、梅・美木多駅の耐震補強工事は既に完了しております。

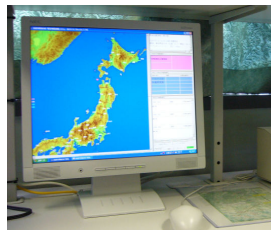
エ 各駅ホーム非常停止ボタン増設

各駅ホームにおける鉄道人身障害事故を防止するため、非常停止ボタンを4駅において11箇所増設いたしました。

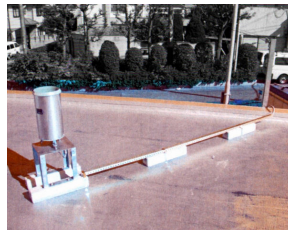
(2) 防災体制

地震に対しては、沿線に設置した地震計による監視のほか、緊急地震速報を受信した場合、走行中の全列車を直ちに緊急停止できる体制となっています。

また、列車の運行に影響を与える可能性が高い場所に雨量計，風向風速計を設置し、運転指令所で常時監視することで、異常時には、迅速に徐行運転等を行うことができる体制となっています。



緊急地震速報モニター



雨量計



風向風速表示盤

(3) 教育・講習

運輸部門、技術部門それぞれが、年間計画の中でテーマを決めて教育を実施しています。

応急手当普及員資格を取得した社員が講師となり、乗務員及び駅係員に、緊急時における応急処置とAED[※]の使用を含む心肺蘇生法等について講習を実施しました。

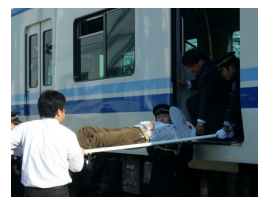
※ AED（Automated External Defibrillator：自動体外式除細動器）は、心臓突然死から人命を救うため、心臓に電気ショックを与え心臓本来のリズムを取り戻す機器です。



(4) 緊急時対応訓練

事故に備えた即応体制を整えるため、鉄道現業各部門が毎月実施している事故対応訓練に加えて、2009年11月に、地震による列車脱線を想定し、負傷者の救護、お客さまの避難誘導、脱線復旧等の総合訓練を実施しました。

また、南海電気鉄道㈱との合同事故復旧訓練（軌道検測車脱線復旧訓練）を2009年11月に実施しました。



(5) 「ヒヤリ・ハット」キャッチ運動

社員がヒヤリとしたことなどの事故の芽情報を収集して、情報の共有を図るとともに、その原因対策を考えることにより事故の芽を摘み取ることを目的とする『「ヒヤリ・ハット」キャッチ運動』を2009年1月から展開しております。2009年度においては、輸送安全に係わる事故の芽情報を6件収集し、原因及び対策を検討・実施して再発防止を図りました。

(6) アルコールチェックの実施

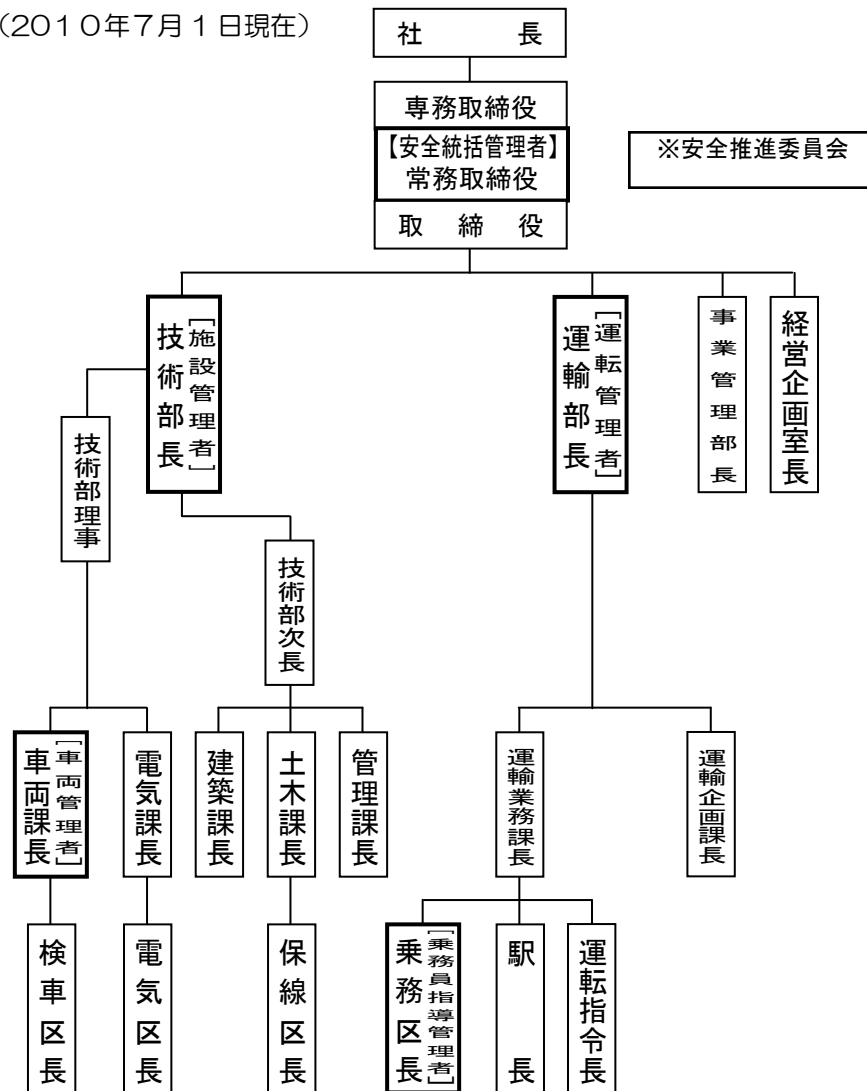
2007年1月1日から乗務員の所属する部署等にアルコールチェッカーを設置し、運用をしています。

5.当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

安全管理体制図

(2010年7月1日現在)



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 【常務取締役】	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運輸管理者 【運輸部長】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 【乗務区長】	運輸管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者 【技術部長】	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者 【車両課長】	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

※安全推進委員会は社長を委員長とし、安全管理体制の構築を図るために設置

6.お客さま・地元の皆さまとの連携

(1) お客さまのご意見を受けての設備の改良

「樺・美木多駅のプラットホームの上りエスカレーター前の点字タイル部分に凸凹があり、危ないので直してほしい」

というご意見をいただきました。

対策として、薄層舗装の劣化部分を撤去し、点字タイル部分を補修しました。

また、「光明池駅の階段の最下段は、床面とフラットなのに階段と同色のため階段があるように錯覚し、つまずきそうになることがある。転倒している人を見たこともある」というご指摘を受けました。

対策として、段鼻部の滑り止めゴムの撤去、階段の最下段を床と同色に変える等の処理を実施いたしました。

(2) A E D の設置

AED (Automated External Defibrillator : 自動体外式除細動器)は、心臓突然死から人命を救うため、心臓に電気ショックを与え心臓本来のリズムを取り戻す機器です。

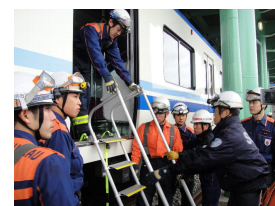


泉北高速鉄道では、各駅にA E Dを設置しており、運輸部門に従事する社員全員がA E Dの使用を含む心肺蘇生法等の講習を受講しております。

AEDを使うことによって大切な命が救われる可能性が高まります。医療従事者以外の使用が認められておりますので、もしもの場合はご利用ください。

(3) 堺市消防局南消防署との連携

堺市消防局南消防署と連携し、鉄道事故、災害時の迅速な救援、救急体制を実現するため、2010年3月に、鉄道の施設や車両に関する現地講習と、車両を使用しての救助訓練を実施しました。



(4) 「こども110番の駅」

泉北高速鉄道の各駅では、「こども110番の駅」として地域のお子さまを守るための取り組みを行っています。



<主旨>

「こども110番の駅」のステッカーを見て、お子さまが駅に助けを求めてきた場合、お子さまの安全を確保し代わって警察へ連絡を行うなどの対応を取ります。また、犯罪発生時のみでなく、日ごろから安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するとともに、お子さまにとって楽しく、安心してご利用いただける駅づくりを目指します。



7.お客さまへのお願い

(1) ホームの非常通報ボタンについて

泉北高速鉄道の各駅では、プラットホームに「非常通報ボタン」を設置しています。万一、お客さまの目の前で、他のお客さまが誤って線路に転落したり、列車と接触する恐れのある大きな力パン等を線路に落とされた場合は、ためらわずに「非常通報ボタン」を押してください。

「非常通報ボタン」を押すと、警報音や赤色灯により、駅係員や付近を走行する電車の乗務員に緊急事態の発生を知らせ、電車は停止します。

※いたずらで「非常通報ボタン」を押した場合、電車が遅れる原因となり、法律で罰せられることがあります。



(2) 駆け込み乗車について

駆け込み乗車は、非常に危険です。列車の遅延につながり、他のお客さまへのご迷惑にもなりますのでおやめください。



（３）車両ドア引き込み防止について

車両のドアが開く際は、戸袋に手などを引き込まれる恐れがありますので、ドアから離れてお待ち下さい。

特に、お子さまの腕などが引き込まれるケースがあるため、2008年10月より、お子さまにもわかりやすいイラスト入りの注意喚起ステッカーを全車両に掲示しています。



8. そ の 他

当社では、ホームページ（<http://www.semboku.jp/>）やお電話、また駅等において、広くお客さまからのご意見をお聞きする体制をとっております。

